

スキャン方法

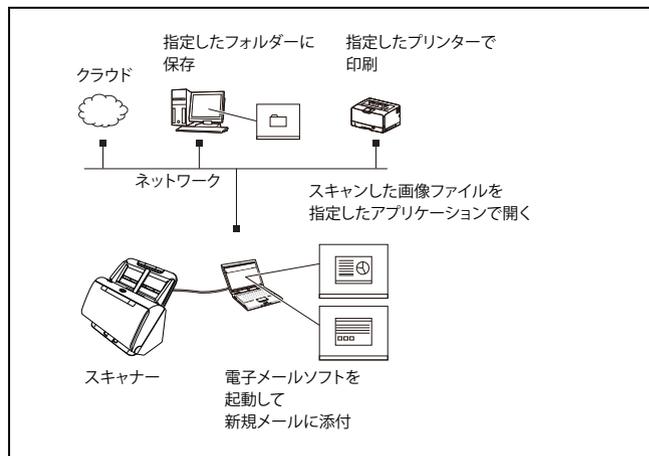
CaptureOnTouch でスキャンする

CaptureOnTouch とは

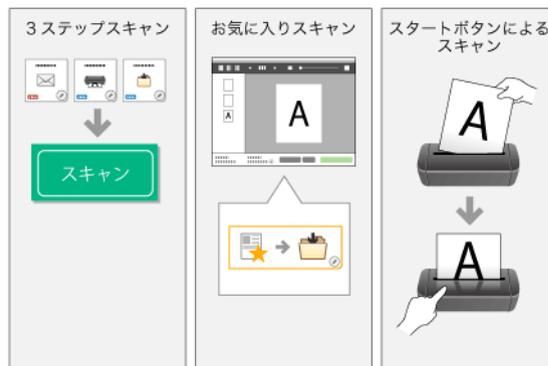
CaptureOnTouch は、画面のパネルを選択するだけの簡単な操作で原稿をスキャンできるスキャニングアプリケーションです。



CaptureOnTouch には、目的や用途に応じて使い分けが可能な複数のスキャン方法が用意されています。



CaptureOnTouch には、以下のスキャン方法があります。



3 ステップスキャン

スキャンモードパネルと出力先パネルをクリックし、[スキャン] ボタンをクリックすると原稿がスキャンされます。原稿の種類や使用目的に応じたスキャン方法を選択してスキャンすることができます。

[\[3 ステップスキャン\]](#) (→ P.39)

お気に入りスキャン

よく使うスキャンモードと出力方法の組み合わせを一つの「お気に入り」としてあらかじめ登録しておくことができます。お気に入りパネルをクリックするだけでスキャンを実行できます。

[\[お気に入りスキャン\]](#) (→ P.42)

スタートボタンでスキャン

ジョブが割り当てられている場合、原稿をセットしてスタートボタンを押すとスキャンが開始されます。

[\[スタートボタンによるスキャン\]](#) (→ P.47)

CaptureOnTouch の起動と終了

デフォルトでは、コンピューターを起動したときに CaptureOnTouch がシステムに常駐します。

Windows



タスクバーの  (CaptureOnTouch アイコン) をクリックし、表示されるメニューの [CaptureOnTouch を開く] をクリックすると、CaptureOnTouch が起動し、メインウィンドウが表示されます。

ヒント

- スタートメニューからも起動できます。[スタート] - [すべてのプログラム] - [CaptureOnTouch] - [CaptureOnTouch V4 Pro] の順にクリックしてください。
- [環境設定] ダイアログボックスの [基本設定] タブで [CaptureOnTouch を常駐する] をオンにしていると、スキャナーのスタートボタンを押してからスキャンが開始するまでの時間が短くなります。詳細は [\[環境設定\]](#) (→ P.57) を参照してください。

Mac



メニューバーの  (CaptureOnTouch アイコン) をクリックし、表示されるメニューの [CaptureOnTouch を起動する] をクリックすると、CaptureOnTouch が起動し、メインウィンドウが表示されます。

ヒント

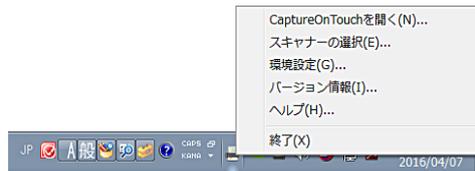
[環境設定] ダイアログボックスの [基本設定] タブで [CaptureOnTouch を常駐する] をオンにしていると、スキャナーのスタートボタンを押してからスキャンが開始するまでの時間が短くなります。詳細は [\[環境設定\]](#) (→ P.57) を参照してください。

終了するには

Windows

CaptureOnTouch のメインウィンドウを閉じるには、ウィンドウ上部の  をクリックします。この場合、メインウィンドウは閉じますが、システムへの常駐は保持されます。

CaptureOnTouch の常駐を終了するには、タスクバーの  (CaptureOnTouch アイコン) をクリックし、メニューの [終了] をクリックします。



システムへの常駐が終了し、タスクバーのアイコンがなくなります。

Mac

CaptureOnTouchのメインウィンドウを閉じるには、ウィンドウ上部の  をクリックします。この場合、メインウィンドウは閉じますが、システムへの常駐は保持されます。

CaptureOnTouch の常駐を終了するには、メニューバーの  (CaptureOnTouch アイコン) をクリックし、メニューの [終了] をクリックします。



Mac

- Finder で [移動] - [アプリケーション] - [CaptureOnTouch] をダブルクリックする

再起動するには

システムへの常駐の終了後に CaptureOnTouch を使用するときには、次のいずれかの手順で再起動してください。CaptureOnTouch が起動してシステムに再度常駐します。

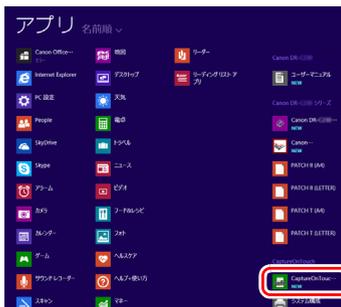
Windows

- [スタート] - [すべてのプログラム] - [CaptureOnTouch] - [CaptureOnTouch V4 Pro] の順にクリックする
- スキャナーのスタートボタンを押す (この場合は CaptureOnTouch のメイン画面が開き、スタートボタンに割り当てられたスキャン方法でスキャンを開始します。)



ヒント

Windows 8.1 では以下の場所に登録されています。



スキャナーの選択

CaptureOnTouch のスキャナー選択方法について説明します。

→ Windows

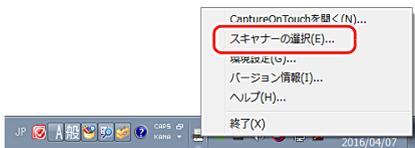
→ Mac

Windows

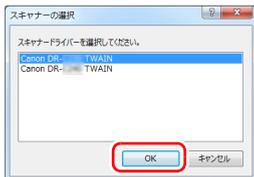
- 1 タスクバーの  (CaptureOnTouch アイコン) をクリックします。



- 2 メニューの [スキャナーの選択] をクリックします。



- 3 ご利用のスキャナーを選択し、[OK] をクリックします。



ヒント

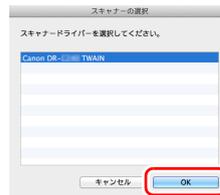
ご利用のスキャナーが表示されないときは、スキャナードライバーを再インストールしてください。(→ P.6)

Mac

- 1 メニューバーの  (CaptureOnTouch アイコン) をクリックし、表示されるメニューの [スキャナーの選択] をクリックしてください。



- 2 ご利用のスキャナーを選択し、[OK] をクリックします。



画面の説明

CaptureOnTouch のメイン画面には、3 ステップスキャンとお気に入りの 2 つの領域があります。

各領域は、メイン画面の右上の > < で切り替えることができます。



それぞれの領域には、スキャンの種類や出力先に応じたさまざまなパネルが用意されています。

[新規作成] ボタンをクリックすると、新しいパネルが作成されます。

3 ステップスキャン

操作の流れ：

スキャンモードパネルを選択⇒ 出力先パネルを選択 ⇒ 原稿をスキャン

1 原稿をスキャナーにセットします。

2 [1 スキャンモード]から、スキャンしたい原稿に応じたスキャンモードパネルをクリックします。

選択したスキャンモードパネルがオレンジ色に変わります。スキャンモードパネルを編集する場合は、「スキャンモードの設定」(→ P.50) を参照してください。



3 [2 出力先]から、スキャン画像の用途に応じた出力先パネルをクリックします。

選択した出力先パネルがオレンジ色になります。出力先パネルを編集する場合は、「出力先の設定」(→ P.53)を参照してください。



4 [スキャン] ボタンをクリックします。



原稿がスキャンされます。スキャン中は、スキャンが終わったページ数と、スキャナー設定の内容が表示されます。

スキャンが終わると、スキャン画像編集画面が表示されます。

💡 ヒント

次回もこのスキャンモードと出力先の組み合わせを使用する場合は、【お気に入りへ追加】ボタンをクリックします。

選択したスキャンモードと出力先が、お気に入りパネルとして追加されます。

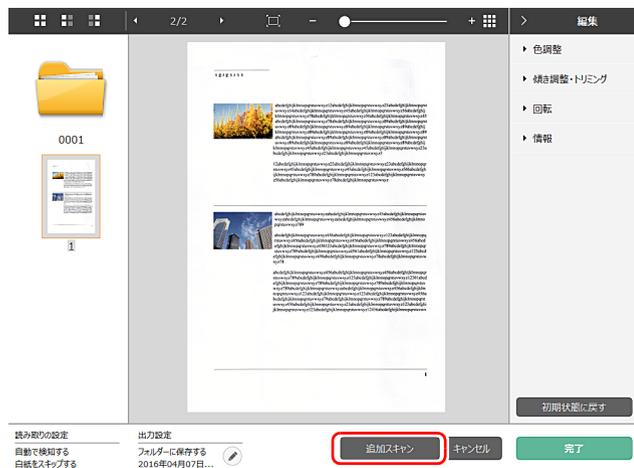
⚠️ 注意

- コンピューターのメモリーを大量に消費する条件でスキャンを行った場合、メモリー不足によりスキャンができなくなる場合があります。スキャン中にメモリー不足などのメッセージが表示されたときは、スキャンを中止し、スキャン条件を変更してからスキャンをやり直してください。
- 複数ページのスキャンを行った場合、ファイルサイズが2GBに達するとファイルの保存ができなくなります。エラーメッセージが表示された場合は、保存の設定を変更してください。

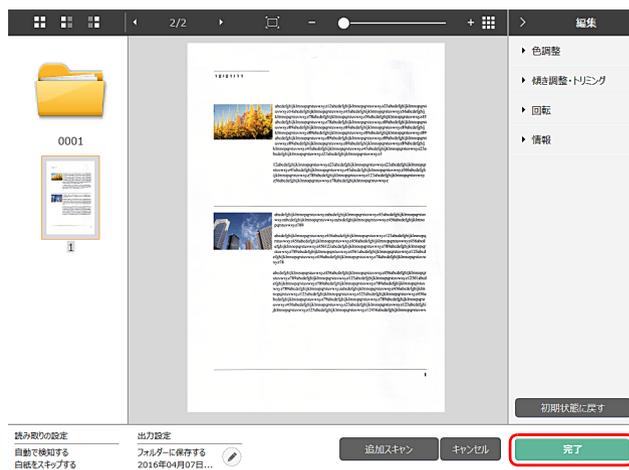


ヒント

継続してスキャンを行う場合は、次の原稿をセットしてから [追加スキャン] ボタンをクリックします。原稿のスキャンが開始されます。



5 スキャン画像を確認したら、[完了] ボタンをクリックします。



スキャン画像の編集を行う場合は、「スキャン画像編集画面の操作」(→ P.47)を参照してください。

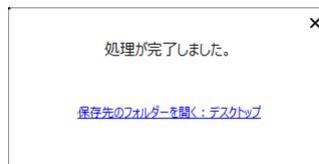
● ボタンをクリックすると、出力先の設定を編集することができます。

「出力先の設定」(→ P.53)

「キャンセル」ボタンをクリックすると、スキャンした画像を破棄してメイン画面に戻ります。

出力が終わると、ポップアップ画面が表示されます。スキャン画像を保存した場合は、保存先のフォルダーを開くリンクが表示されます。

これで3ステップスキャンは完了です。



ヒント

「保存先のフォルダーを開く」リンクをクリックすると、スキャン画像が保存されたフォルダーを開くことができます。出力先の設定によっては、「保存先のフォルダーを開く」リンクが表示されない場合があります。

お気に入りスキャン

操作の流れ：

お気に入りを登録⇒ 原稿をスキャン ⇒ 画像出力

よく使うスキャンモードと出力先を組み合わせでお気に入りに追加すると、お気に入りパネルをクリックするだけでスキャンができます。

ヒント

登録したお気に入りにジョブを割り当てると、スキャナーのスタートボタンから、その設定でのお気に入りスキャンを実行できます。

「スタートボタンによるスキャン」(→ P.47)

お気に入りの登録と編集

CaptureOnTouch には、お気に入りを複数登録できます。

- 1 「お気に入り」の「新規作成」ボタンをクリックするか、「3ステップスキャン」でスキャンモードと出力先を選択して「お気に入りへ追加」ボタンをクリックします。

お気に入りパネルが作成されます。



ヒント

「新規作成」ボタンの▼をクリックして表示されるメニューから、お気に入りの種類を選択して新規作成することもできます。

- 2 編集ボタンをクリックすると、お気に入りパネル編集ダイアログが表示されます。



3 [スキャンモード] タブをクリックして、スキャンモードの設定を行います。「スキャンモードの設定」(→ P.50)

スキャンモード	バッチ区切り	出力先 1	インデックス 1	オプション	全般
読み取りの設定					
カラーモード(M):	グレースケール				
用紙サイズ(P):	原稿のサイズに合わせる				
解像度(H):	200 dpi (速度を優先)				
読み取り面(S):	白紙をスキップする				
画像の傾きを自動で補正する(Q):	搬送時の原稿の傾きを補正する				
文字の向きに合わせて画像を回転する	<input checked="" type="checkbox"/> 有効(I)				
詳細設定ダイアログボックスを使う	<input type="checkbox"/> 有効(D) 設定(E)...				
全般					
アイコン	 <input type="checkbox"/> アイコンを変更する(C) 設定(E)...				
閉じる 					

4 [バッチ区切り] タブをクリックして、バッチ区切りの設定を行います。「バッチ区切りの設定」(→ P.52) **Windows**

スキャンモード	バッチ区切り	出力先 1	インデックス 1	オプション	全般
バッチ区切り設定					
区切り方法(I):	区切らない 詳細設定(I)...				
区切り用紙(P):	破棄する				
閉じる 					

5 【出力先】 タブをクリックして、出力先の設定を行います。
「出力先の設定」(→ P.53)

スキャンモード	バッチ区切り	出力先 1	インデックス 1	オプション	全般
出力設定					
出力方法の選択(B):	フォルダーに保存する 詳細設定(I)...				
ファイル名 / フォルダー名(G):	Image_ 詳細設定(A)...				
ファイル形式(Y):	PDF (*.pdf) 詳細設定(W)...				
保存場所(V):	マイピクチャ 詳細設定(E)...				
全般					
アイコン	 <input type="checkbox"/> アイコンを変更する(C) 設定(E)...				
閉じる					

6 【インデックス】 タブをクリックして、インデックスファイルの設定を行います。「インデックスの設定」(→ P.54) **Windows**

スキャンモード	バッチ区切り	出力先 1	インデックス 1	オプション	全般
インデックス設定					
ページインデックス:	<input type="checkbox"/> 出力する(E) 出力設定(P)...				
ドキュメントインデックス:	<input type="checkbox"/> 出力する(Q) 出力設定(S)...				
バーコード/OCR設定(B):	領域設定(Z)...				
閉じる					

7 【オプション】タブをクリックすると、オプション設定が行えます。

スキャンモード	バッチ区切り	出力先 1	インデックス 1	オプション	全般
オプション					
スキャン後に編集を行う	<input checked="" type="checkbox"/> 有効(I)				
追加スキャンを有効にする	<input checked="" type="checkbox"/> 有効(D)				
ジョブの割り当て(B):	No. 1				
出力の順番(L)	<input type="button" value="+"/> <input type="button" value="×"/> <input type="button" value="↑"/> <input type="button" value="↓"/>				
	フォルダーに保存する				
<input type="button" value="閉じる"/> <input type="button" value="🗑"/>					

【スキャン後に編集を行う】

チェックを付けると、スキャン後にスキャン編集画面で画像の編集ができます。チェックを外すと、スキャン編集画面で編集ウィンドウが表示されません。
[【スキャン画像編集画面の操作】](#) (→ P.47)

【追加スキャンを有効にする】

チェックを付けると、スキャン編集画面に「追加スキャン」ボタンが表示され、継続してスキャンを行うことができます。

【ジョブの割り当て】

お気に入りをジョブに割り当てることができます。
ジョブの割り当てを行うと、お気に入りパネルに割り当てたジョブ番号のアイコンが表示されます。



【出力の順番】

出力先の追加と削除、順番の変更ができます。

8 【全般】タブをクリックすると、その他の設定が行えます。

スキャンモード	バッチ区切り	出力先 1	インデックス 1	オプション	全般
全般					
名前(N):	フォルダーに保存する				
<input type="button" value="閉じる"/> <input type="button" value="🗑"/>					

【名前】

お気に入りパネルの名前を入力できます。

お気に入りを選択してスキャンする

1 原稿をスキャナーにセットします。
「本機の使いかた」(→ P.22)

2 お気に入りパネルをクリックします。



原稿がスキャンされます。スキャン中は、スキャンが終わったページ数と、スキャナー設定の内容が表示されます。

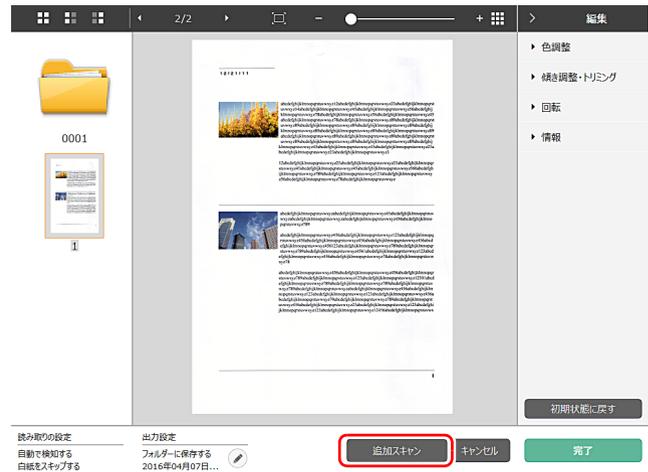
スキャンが終わると、スキャン画像編集画面が表示されます。

⚠ 注意

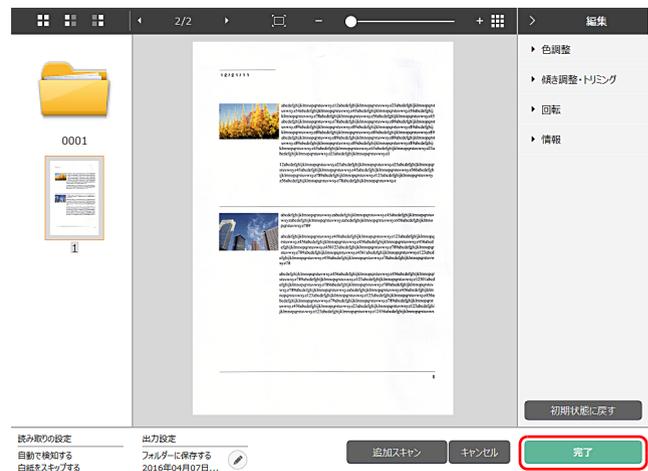
- コンピューターのメモリーを大量に消費する条件でスキャンを行った場合、メモリー不足によりスキャンができなくなる場合があります。スキャン中にメモリー不足などのメッセージが表示されたときは、スキャンを中止し、スキャン条件を変更してからスキャンをやり直してください。
- 複数ページのスキャンを行った場合、ファイルサイズが2GBに達するとファイルの保存ができなくなります。エラーメッセージが表示された場合は、保存の設定を変更してください。

💡 ヒント

継続してスキャンを行う場合は、次の原稿をセットしてから [追加スキャン] ボタンをクリックします。原稿のスキャンが開始されます。お気に入りスキャンの設定で、[追加スキャンを有効にする] のチェックを外した場合は、[追加スキャン] ボタンは表示されません。



3 スキャン画像を確認したら、[完了] ボタンをクリックします。



スキャン画像の編集を行う場合は、「スキャン画像編集画面の操作」(→ P.47) を参照してください。

ヒント

お気に入りスキャンの設定で、[スキャン後に編集を行う] を無効にした場合は、編集ウィンドウは表示されません。

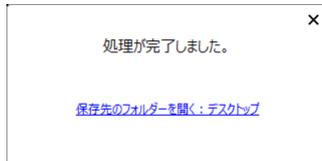
 ボタンをクリックすると、出力先の設定を編集することができます。

「出力先の設定」 (→ P.53)

[キャンセル] ボタンをクリックすると、スキャンした画像を破棄してメイン画面に戻ります。

出力が終わると、ポップアップ画面が表示されます。スキャン画像を保存した場合は、保存先のフォルダーを開くリンクが表示されます。

これでお気に入りスキャンは完了です。



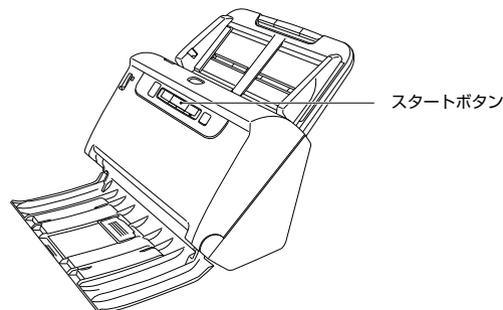
ヒント

[保存先のフォルダーを開く] リンクをクリックすると、スキャン画像が保存されたフォルダーを開くことができます。出力先の設定によっては、[保存先のフォルダーを開く] リンクが表示されない場合があります。

スタートボタンによるスキャン

よく使うスキャン方法をお気に入りに設定し、ジョブを割り当てると、スタートボタンからお気に入りスキャンを実行できます。

原稿をセットして Job Select ボタンで実行したいジョブ番号を選択し、スタートボタンを押すと、CaptureOnTouch が起動し、スキャンが開始されます。



ヒント

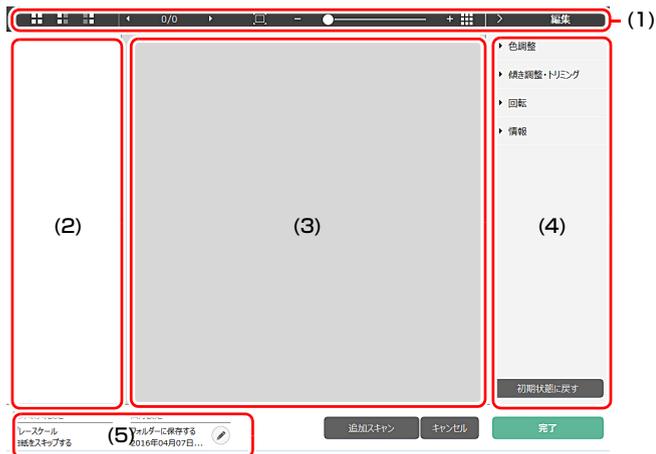
- 環境設定で、[本体ボタンからスキャン開始したときに、メイン画面を表示しない] チェックボックスをオンしている場合、スタートボタンからスキャンを開始したときに CaptureOnTouch のメイン画面は表示されません。スキャン中のダイアログやエラーメッセージ、完了のポップアップ画面のみ表示されます。
- 環境設定で、[本体ボタンからスキャン開始したときに、メイン画面を表示しない] チェックボックスをオンしている場合、スタートボタンからスキャンを開始したときに、[スキャン後に編集を行う] と [スキャンを有効にする] は無効になります。

スキャン画像編集画面の操作

スキャンが完了すると、スキャンした画像のプレビュー画面が表示されます。プレビュー画面に編集ウィンドウを表示するには、ツールバーの  をクリックします。



スキャン画像編集画面



(1) ツールバー

サムネイルやプレビュー画像を操作するツールバーです。

ツールボタン	説明
	サムネイルの画像選択を切り替えます。 左から、「全選択」、「奇数ページ選択」、「偶数ページ選択」の順に動作します。
	プレビューに表示されているページを表示します。 左・右のアイコンをクリックすると、表示ページが切り替わります。
	プレビューの表示倍率を変更します。スライダーを+、-の方向へ動かすことで、プレビュー画像が拡大 / 縮小します。 リセットアイコンをクリックすると、プレビューの表示倍率を画面にフィットさせます。
	クリックすると、プレビューウィンドウの表示 / 非表示を切り替えます。
	をクリックすると、編集ウィンドウの表示 / 非表示を切り替えます。

(2) サムネイル表示領域

スキャンされた原稿のサムネイル画像が表示されます。次の操作ができます。サムネイル画像をクリックすると、そのスキャン画像のプレビューがプレビューウィンドウに表示されます。

サムネイル画像をドラッグすると、ページの入れ替えができます。

(3) プレビューウィンドウ

スキャン原稿のプレビュー画像が表示されます。

(4) 編集ウィンドウ

スキャン原稿の編集が行えます。

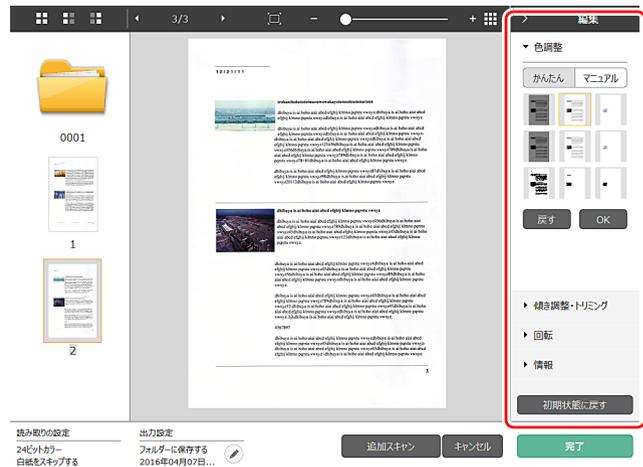
各項目をクリックすると、編集画面が開きます。

[画像を初期状態に戻す] ボタンをクリックすると、編集結果を破棄してスキャン直後の画像に戻ります。

💡 ヒント

お気に入りスキャンの設定で、[スキャン後に編集を行う] を無効にした場合は、編集ウィンドウは表示されません。

色調整 (かんたん設定)

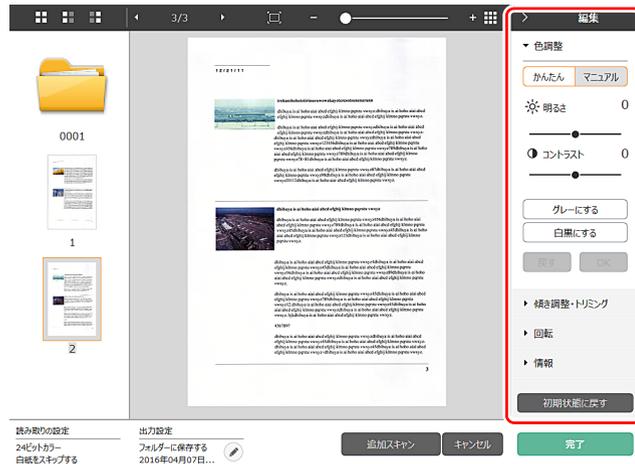


[色調整] をクリックすると最初に表示されます。

かんたん設定とマニュアル設定は、ボタンをクリックすると交互に表示されます。

かんたん色調整では、サムネイル画像をクリックして、最も適したプレビュー画像が表示されるものを選択します。サムネイル画像は、対象画像がカラーのときに9パターン、グレースケールのときに6パターン表示されます。調整が終わったら [OK] ボタンをクリックします。調整をキャンセルする場合は [戻す] ボタンをクリックします。

色調整 (マニュアル設定)



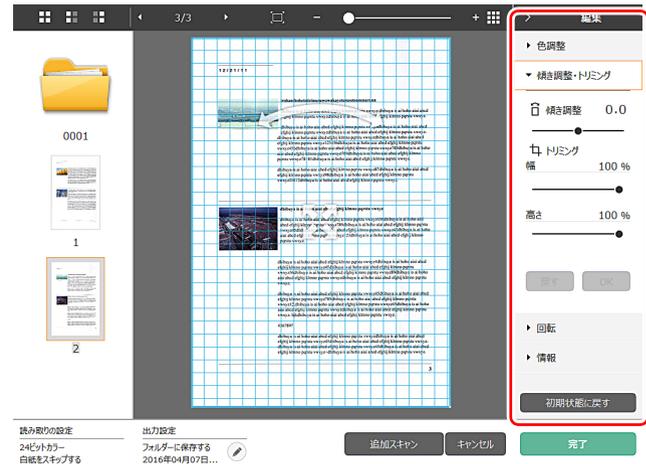
明るさとコントラストを、プレビュー画像を確認しながらスライダーを左右に動かすことで調整できます。

[グレーにする] ボタンをクリックすると、グレースケール画像になります。

[白黒にする] ボタンをクリックすると、白黒2値の画像になります。

調整が終わったら [OK] ボタンをクリックします。調整をキャンセルする場合は [戻す] ボタンをクリックします。

傾き調整・トリミング



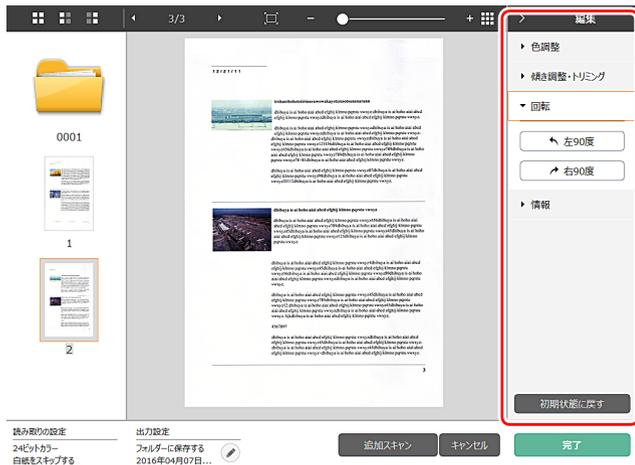
【傾き調整・トリミング】をクリックすると表示されます。

傾き調整とトリミングを、プレビュー画像とスライダーのどちらからでも調整できます。

プレビュー画像では、移動グリップ、傾き調整グリップやトリミング枠を直接ドラッグすることで、傾きやトリミングの調整が行えます。トリミングを行った後に、プレビュー画面上で移動グリップをドラッグすると、切り出す範囲を変更することができます。

調整が終わったら [OK] ボタンをクリックします。調整をキャンセルする場合は [戻す] ボタンをクリックします。

回転



[回転] をクリックすると表示されます。
スキャン画像を左 90 度または右 90 度に回転します。プレビュー画像を確認しながら調整できます。

(5) 情報表示領域 **Windows**

スキャンモードと出力先の情報を表示します。

- ボタンをクリックすると、出力設定ダイアログが表示されます。
- [追加スキャン] ボタンをクリックすると、継続スキャンを開始します。
- [キャンセル] ボタンをクリックすると、スキャンした画像を破棄し、トップ画面に戻ります。
- [完了] ボタンをクリックすると、出力処理を開始します。出力が終了すると、トップ画面に戻ります。スキャン画像を保存した場合は、保存先のフォルダーを開くリンクが表示されます。

ヒント

お気に入りスキャンの設定で、[追加スキャンを有効にする] のチェックを外した場合は、[追加スキャン] ボタンは表示されません。

スキャンモードの設定

デフォルトでは、CaptureOnTouch はおまかせモードでのスキャン設定が有効になっているため、原稿に合ったスキャン条件でスキャンが行われます。原稿サイズ、カラーモードなどの設定を指定したい場合に、スキャンモードパネルを編集して、任意のスキャン条件を設定できます。

スキャンモードパネルの新規作成

スキャンモードエリアの [新規作成] ボタンをクリックすると、スキャンモードパネルが新規作成されます。または、[新規作成] ボタンの  をクリックして表示されるメニューから、スキャンモードの種類を選択して新規作成することもできます。

スキャンモードパネルの編集

スキャンモードパネルの  ボタンをクリックすると、スキャンモードパネル編集ダイアログが表示されます。お気に入りパネル編集ダイアログでは、[スキャンモード] タブをクリックします。



読み取りの設定

読み取り条件の設定を行います。

カラーモード

原稿をスキャンするカラーモードを、次の中から選択します。

自動で検知する	原稿の内容からカラーモードを自動判別してスキャンします。
24ビットカラー	原稿をカラーでスキャンします。
グレースケール	原稿をグレースケールでスキャンします。
白黒にする	原稿を白黒二値でスキャンします。

用紙サイズ

原稿の用紙サイズを指定します。

[原稿のサイズに合わせる]を指定したときは、スキャンした原稿の用紙サイズを検知し、検知したサイズで画像を保存します。

解像度

スキャンの解像度を指定します。

[自動で検知する]を指定したときは、スキャンした原稿の内容から自動的に解像度が検出されます。

読み取り面

原稿を片面のみスキャンするか、両面をスキャンするかを指定します。

[白紙をスキップする]を指定したときは、原稿中に白紙があった場合にそのページを飛ばしてスキャンします。

画像の傾きを自動で補正する

原稿が斜めに給紙されたときに、スキャンした画像の傾きを検知してまっすぐに補正します。

設定を次の中から選択します。

[OFF]

[搬送時の原稿の傾きを補正する]

[画像の傾きを補正する]

文字の向きに合わせて画像を回転する

この項目を有効にすると、読み取った画像の中にある文字の向きを認識し、文字の向きが正常になるように画像の向きを回転します。

詳細設定ダイアログボックスを使う

スキャンモードの設定には、[読み取りの設定]で設定する基本項目と、詳細設定ダイアログボックスで設定する設定項目があり、基本項目以外の設定は詳細設定ダイアログボックスの設定が適用されます。

[詳細設定ダイアログボックスを使う]を有効にすると、基本項目以外の詳細なスキャナー設定は、詳細設定ダイアログボックス（スキャナードライバー）で行います。スキャナードライバーを開くには、この項目を有効にしてから、[設定]ボタンをクリックします。

ヒント

ドライバーの設定ダイアログボックスには、[読み取りの設定]の基本項目と同じ設定項目があり、それぞれの設定内容は独立して保持されます。スキャン時にどちらの設定が適用されるかは、[詳細設定ダイアログボックスを使う]チェックボックスの設定によって次のように異なります。

[詳細設定ダイアログボックスを使う]の設定	基本項目	基本項目以外
無効	[読み取りの設定]の設定	スキャナードライバーの詳細設定ダイアログボックスの設定
有効	スキャナードライバーの詳細設定ダイアログボックスの設定	

基本項目以外の設定項目の詳細については、ドライバーの設定ダイアログボックスのヘルプを参照してください。

全般

スキャンモードの名称やアイコンを設定します。

名前

スキャンモードパネルに表示される名前を入力します。

アイコン

スキャンモードパネルやお気に入りパネルに表示されるスキャンモードのアイコンを変更できます。

[アイコンを変更する]にチェックを付けると、[設定]ボタンが有効になり、ファイルの選択ができます。

アイコンファイルとして選択できるファイル形式は以下のとおりです。

Windows

- .ico、.exe、.jpg、.png

Mac

- .icns、.app、.jpg、.png

バッチ区切りの設定 Windows

バッチ区切りの設定を行います。

バッチ区切り設定	
区切り方法 (1) :	区切らない
	詳細設定 (1)...
区切り用紙 (2) :	破棄する
閉じる	

区切り方法

バッチを区切る方法を選択し、[詳細設定] ボタンをクリックすると、[バッチ区切り設定] が表示され、区切り方法の詳細を設定できます。

バッチを区切る方法を次の中から選択します。

- [区切らない]
- [カウンター]
- [バーコード]
- [ゾーン OCR]
- [バッチコード]
- [白紙]
- [原稿の表面]

! 重要

[バーコード] を使用するには、バーコードモジュール (オプション) をインストールする必要があります。

区切り用紙

バッチを区切る用紙を次の中から選択します。

- [破棄する]
- [現在のドキュメントに含める]
- [新規ドキュメントに含める]

出力先の設定

デフォルトでは、CaptureOnTouch はスキャン画像を PDF ファイルに変換してフォルダーに保存する設定が有効になっています。

出力方法や保存場所を指定したい場合に、出力先パネルを編集して、任意の出力先を設定できます。

出力先パネルの新規作成

[新規作成] ボタンをクリックすると、出力先パネルが新規作成されます。

[新規作成] ボタンの ▾ をクリックして表示されるメニューから、出力先を選択して新規作成することもできます。

出力先パネルの編集

出力先パネルの  ボタンをクリックすると、出力先パネル編集ダイアログが表示されます。

お気に入りパネル編集ダイアログでは、[出力先] タブをクリックします。



出力設定

出力方法の選択(B):	フォルダーに保存する 詳細設定(I)...
ファイル名 / フォルダー名(S):	Image_ 詳細設定(A)...
ファイル形式(Y):	PDF (*.pdf) 詳細設定(W)...
保存場所(V):	マイピクチャ 詳細設定(E)...

全般

アイコン



アイコンを変更する(C)
設定(E)...

閉じる 

出力方法の選択

選択した出力方法によって、選択できるファイル形式や保存場所が異なります。

フォルダーに保存する



出力設定

出力方法の選択(B):	フォルダーに保存する 詳細設定(I)...
ファイル名 / フォルダー名(S):	Image_ 詳細設定(A)...

スキャンした画像を、指定したフォルダーに保存します。この出力方法を指定したときは、保存場所のフォルダーを設定します。

その他の出力方法

CaptureOnTouch では、[フォルダーに保存する] 以外の出力方法は、プラグインとして提供しています。

プラグインをインストールすることによって、スキャン画像の印刷やメール添付などの他、さまざまなサービスを利用することができます。

プラグインは、CaptureOnTouch のインストール時に、チェックをつけてインストールすることができます。

インストールしているプラグインによって、選択できる出力方法は異なります。各プラグインの使用方法については、プラグインのヘルプを参照してください。

インデックスの設定 **Windows**

インデックスファイルの設定を行うことができます。

インデックス設定

ページインデックス: 出力する(E) 出力設定(P)...

ドキュメントインデックス: 出力する(Q) 出力設定(S)...

バーコード/OCR設定(B): 領域設定(Z)...

閉じる

ページインデックス

ページインデックスを出力します。

[出力設定] ボタンをクリックすると、ページインデックスの設定を行うことができます。

ドキュメントインデックス

ドキュメントインデックスを出力します。

[出力設定] ボタンをクリックすると、ドキュメントインデックスの設定を行うことができます。

バーコード / OCR 設定

テキストを認識するためのバーコード / OCR の設定を行います。

[領域の設定] ボタンをクリックすると、バーコード / OCR 設定ダイアログボックスが開きます。

お気に入りの設定

デフォルトでは、CaptureOnTouch はおまかせモードでのお気に入りスキャンが有効になっているため、原稿に合ったスキャン条件でフォルダーに保存するお気に入りスキャンが行われます。

スキャンモードと出力先の組み合わせを指定したい場合に、お気に入りパネルを編集して、任意のお気に入りを設定できます。

お気に入りパネルの新規作成

お気に入りパネルを新規作成するには、次の 2 つの方法があります。

- 3 ステップスキャンの [3 アクション] で、[お気に入りへ追加] ボタンをクリックすると、選択したスキャンモードと出力先が、ひとつのお気に入りパネルに登録されます。
- お気に入り領域の [新規作成] ボタンをクリックすると、お気に入りパネルが新規作成されます。

[新規作成] ボタンの ▾ をクリックして表示されるメニューから、お気に入りの種類を選択して新規作成することもできます。

お気に入りパネルの編集

お気に入りパネルの ⚙ ボタンをクリックすると、お気に入りパネル編集ダイアログが表示されます。

お気に入りパネル編集ダイアログには、以下のタブがあります。

- [スキャンモード] タブ
- [出力先] タブ
- [オプション] タブ
- [全般] タブ

ファイル形式について

スキャン画像のファイル形式を設定します。BMP、PNG 形式以外のファイル形式を選択したときは、[詳細設定] ボタンが有効になり、ファイル形式の設定を行うことができます。

💡 ヒント

スキャン画像のファイル形式は、下記のいずれかを指定できます。

- PDF 形式 **Windows** **Mac**
- TIFF 形式 **Windows** **Mac**
- PNG 形式 **Windows** **Mac**
- JPEG 形式 **Windows** **Mac**
- BMP 形式 **Windows**
- PPTX 形式

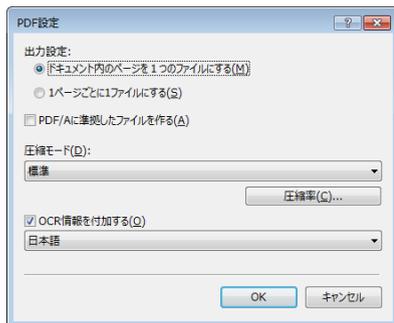
(Microsoft PowerPoint 2007 以降のファイル形式) **Windows**

出力先の設定によって、選択できるファイル形式は異なります。

プラグインによる出力では、スキャン画像はプラグインのアプリケーションで設定したファイル形式で出力されます。そのため、スキャンモードパネルで選択したファイル形式と異なる場合があります。

PDF 設定

Windows



[出力設定]

複数ページの原稿をスキャンした場合の保存方法を指定します。

- ドキュメント内のページを 1 つのファイルにする (原稿のすべてのページを 1 つの PDF ファイルに保存します)

- 1 ページごとに 1 ファイルにする (各ページごとに 1 つの PDF ファイルに保存します)

[PDF/A に準拠したファイルを作る] にチェックを付けると、PDF/A に準拠したファイルを作成します。

[圧縮モード] で、PDF ファイルの圧縮モード ([標準] または [高圧縮]) を指定します。

[圧縮率] ボタンをクリックすると、表示されるダイアログボックスで圧縮率を指定できます。

[OCR 情報を付加する] で、スキャン画像に OCR 情報を付加するかどうかを指定できます。

Mac



[マルチ PDF 設定] で、スキャン画像をマルチページ (全ページを 1 つのファイルにする) とシングルページ (指定したページ数ごとに 1 つのファイルにする) のどちらで保存するかを指定します。

[PDF/A に準拠したファイルを作る] にチェックを付けると、PDF/A に準拠したファイルを作成します。

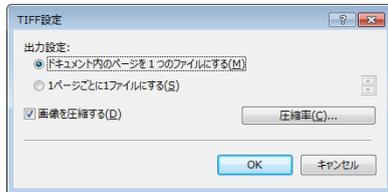
[圧縮モード] で、PDF ファイルの圧縮モード ([標準] または [高圧縮]) を指定します。

[圧縮率] ボタンをクリックすると、表示されるダイアログボックスで圧縮率を指定できます。

[OCR 情報を付加する] で、スキャン画像に OCR 情報を付加するかどうかを指定できます。

TIFF 設定

Windows



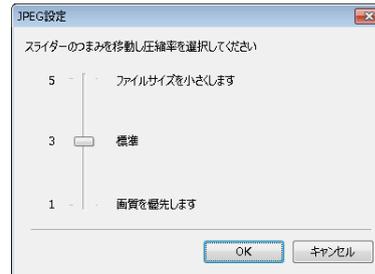
【出力設定】

複数ページの原稿をスキャンした場合の保存方法を指定します。

- ドキュメント内のページを 1 つのファイルにする (原稿のすべてのページを 1 つの TIFF ファイルに保存します。)
- 1ページごとに1ファイルにする (各ページごとに1つのTIFFファイルに保存します。)

[画像を圧縮する] を [ON] にしてから [圧縮率] ボタンをクリックし、表示されるダイアログボックスで圧縮率を指定できます。

JPEG 設定



JPEG 画像の圧縮率を指定できます。

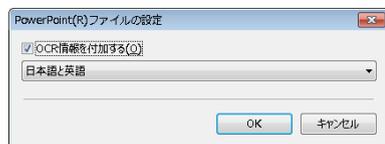
Mac



【マルチ TIFF 設定】で、スキャン画像をマルチページ (全ページを 1 つのファイルにする) とシングルページ (指定したページ数ごとに 1 つのファイルにする) のどちらで保存するかを指定します。

Windows

PPTX 設定



スキャン画像に OCR 情報を付加するかどうかを指定できます。

環境設定

Windows

Mac

Windows

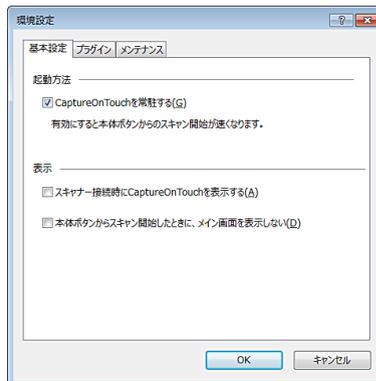
CaptureOnTouch の環境設定を行うには、[環境設定] ダイアログボックスを開きます。

タスクバーの  (CaptureOnTouch アイコン) をクリックし、メニューの [環境設定] をクリックします。

以降では、[環境設定] ダイアログボックスに表示される各タブの設定項目について説明します。

[基本設定] タブ

[基本設定] タブでは以下の設定を行います。



起動方法

デフォルトでは、コンピューターの起動時に CaptureOnTouch がシステムに常駐します。

[CaptureOnTouch を常駐する] チェックボックスをオフにすると、システムへの常駐を無効にできます。

表示

[スキャナー接続時に CaptureOnTouch を表示する] チェックボックスをオンにすると、スキャナーをコンピューターに接続したときに自動的に CaptureOnTouch のメイン画面が開きます。この設定は、CaptureOnTouch が起動している（またはシステムに常駐している）場合のみ有効です。

この設定をオンにすると、[本体ボタンからスキャン開始したときに、メイン画面を表示しない] の設定はオフになります。

[本体ボタンからスキャン開始したときに、メイン画面を表示しない] チェックボックスをオンにすると、スキャナーのスタートボタンを押してお気に入りスキャンを開始したときは、CaptureOnTouch のメイン画面を表示しません。スキャン中のダイアログやエラーメッセージ、完了のポップアップ画面は表示されます。

この設定をオンにすると、お気に入りパネル編集ダイアログの [追加スキャンを有効にする]、[スキャン後に編集を行う] のチェックは無効になります。

【プラグイン】 タブ

【プラグイン】 タブでは、CaptureOnTouch に追加されているプラグインを確認できます。



【設定】 ボタン

プラグインリストで選択しているプラグインの詳細情報を表示します。

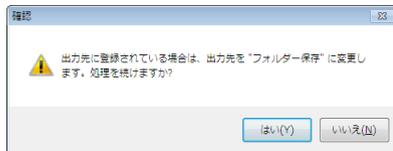
💡 ヒント

プラグインによって、このボタンの表示の有無は異なります。

【有効にする】 / 【無効にする】 ボタン

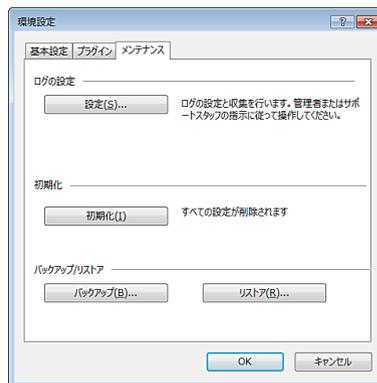
一覧で選択しているプラグインの有効/無効を切り替えます。

【無効にする】 を選択すると、以下の確認ダイアログが表示されます。



【メンテナンス】 タブ

【メンテナンス】 タブでは、CaptureOnTouch のメンテナンスのためのログの設定や初期化を行います。



バックアップ / リストア

【バックアップ】 ボタンと【リストア】 ボタンで、CaptureOnTouch の設定ファイル（設定内容など）をバックアップしたり、バックアップしたデータから設定を復元できます。

【バックアップ】 ボタン

CaptureOnTouch の設定をバックアップファイル (*.cot) にバックアップします。CaptureOnTouch を使用する前にバックアップを行うことにより、CaptureOnTouch の初期状態を保持できます。

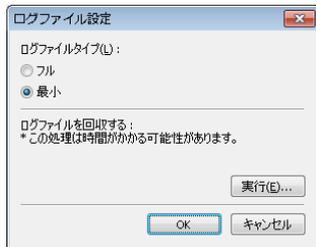
【リストア】 ボタン

バックアップしたファイルから設定を復元します。

複数台のコンピューターを使用している場合に、1 台のコンピューターで行った環境設定をバックアップし、他のコンピューターにリストアすることで同じ設定にできます。

ログの設定

[設定] ボタンをクリックすると、ログファイル設定画面が表示されます。ログファイルのタイプを選択します。



[実行] ボタンをクリックすると、ログファイルを保存するダイアログが表示されます。

[ログファイルタイプ] の [フル] を選択すると動作が遅くなります。

初期化

[初期化] ボタンをクリックすると、確認ダイアログが表示されます。



CaptureOnTouch のすべてのデータが削除され、初期値に戻ります。

Mac

CaptureOnTouch のメイン画面を表示させた状態で、[CaptureOnTouch] メニューの [環境設定] をクリックします。以降では、[環境設定] ダイアログボックスに表示される各タブの設定項目について説明します。

[基本設定] タブ

[基本設定] タブでは以下の設定を行います。



起動方法の設定

デフォルトでは、コンピューターの起動時に CaptureOnTouch がシステムに常駐します。[CaptureOnTouch を常駐する] チェックボックスをオフにすると、システムへの常駐を無効にできます。

スキャナー接続時の表示設定

[スキャナー接続時に CaptureOnTouch を起動する] チェックボックスをオンにすると、スキャナーをコンピューターに接続したときに自動的に CaptureOnTouch のメイン画面が開きます。この設定は、CaptureOnTouch が起動している（またはシステムに常駐している）場合のみ有効です。[本体ボタンからスキャン開始したときに、メイン画面を表示しない] チェックボックスをオンにすると、スキャナーのスタートボタンを押してお気に入りスキャンを開始したときは、CaptureOnTouch のメイン画面を表示しません。スキャン中のダイアログやエラーメッセージ、完了のポップアップ画面は表示されます。

バックアップ / リストア

[バックアップ] ボタンと [リストア] ボタンで、CaptureOnTouch の設定ファイル（設定内容など）をバックアップしたり、バックアップしたデータから設定を復元できます。

[バックアップ] ボタン

CaptureOnTouch の設定をバックアップファイル (*.plist) にバックアップします。CaptureOnTouch を使用する前にバックアップを行うことにより、CaptureOnTouch の初期状態を保持できます。

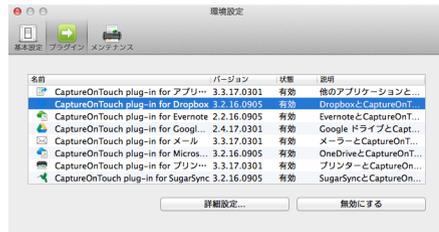
[リストア] ボタン

バックアップしたファイルから設定を復元します。

複数台のコンピューターを使用している場合に、1 台のコンピューターで行った環境設定をバックアップし、他のコンピューターにリストアすることで同じ設定にできます。

[プラグイン] タブ

[プラグイン] タブでは、CaptureOnTouch に追加されているプラグインを確認できます。



[詳細設定] ボタン

プラグインリストで選択しているプラグインの詳細情報を表示します。



ヒント

プラグインによって、このボタンの表示の有無は異なります。

[有効にする] / [無効にする] ボタン

一覧で選択しているプラグインの有効/無効を切り替えます。

[メンテナンス] タブ

[メンテナンス] タブでは以下の設定を行います。



初期化

設定をすべて初期値に戻します。